

## (任) 日本地質学会2009年度第3回定例評議員会議事録

2010年5月19日

日本地質学会評議員会

議長 保柳康一

日時：2010年4月3日（土）13：00—14：30

会場：科学技術館 第一会議室（事務棟6階）（東京都千代田区北の丸公園2-1）

出席者：宮下純夫会長 高木秀雄・佃 栄吉副会長

（理事11名） 渡部芳夫 石渡 明 井龍康文 上砂正一 倉本真一 小嶋 智 坂口有  
人 斎藤 眞 久田健一郎 向山 栄 藤本光一郎

（評議員16名） 安藤寿男 磯崎行雄 永広昌之 小山内康人 岡 孝雄 狩野謙一  
北里 洋 佐々木和彦 滝田良基 中川光弘 新妻信明 保柳康一 松岡  
篤 松原典孝 吉川敏之 脇田浩二  
（事務局）橋辺菊恵

欠席者：

（理事3名） 岩森 光 藤林紀枝 矢島道子

（評議員20名）（委任あり）足立勝治 阿部国広 荒戸裕之 伊藤谷生 卜部厚志 大友  
幸子 川端清司 木村 学 公文富士夫 紺谷吉弘 沢田順弘 柴 正博  
芝川明義 高橋正樹 堀利栄 松本俊幸 三宅康幸 村山雅史 山路 敦  
山根 誠（委任なし）磯野 清 丸山茂徳 渡辺真人

\* 出席者成立員数（20/39）に対し、出席17名、委任状19名で、評議員会は成立し、以下の報告事項が質疑・承認された。

\* 書記の選出 岡孝雄・吉川敏之

### ○報告事項

#### 1. 理事会報告

##### (1) 運営財政部会

###### 1) 総務委員会（部会長 上砂）

・1月～3月までの理事会議事録参照。事務局1月～3月、阿南氏雇用。

###### 2) 会員委員会（担当理事 向山）

・12月以降の入会者数 3名

正会員2名（うち院割2）、準会員1名

・12月以降の退会者 116件

- 賛助会員 1 団体 正会員 113 名 (うち院割 13), 準会員 2 名
- ・12 月以降の逝去者 6 名 (名誉会員 1 名, 正会員 5 名) →1 分間黙禱.  
名誉会員 古川和代 (2010/3/4)
  - 正会員 鈴木康司 (2009/11/8), 植田和男 (2009/11/9), 根本 守 (2009/12/2),  
本庄 充 (正月北アルプス遭難 2010/1/4 逝去日とする), 坂 幸恭  
(2010/03/31)
  - ・2010 年 3 月末除籍者 125 名 (前年度 244 名)
  - ・会員数

	賛助	名誉	正会員(内 院生割引)	準会員	合計
2010年 3月31日	29	72	3,985 (206)	31	4,117
2009年 11月30日	30	73	4,226 (217)	32	4,361
前回比	-1	-1	-241 (-11)	-1	-244

- ・会員数の減少傾向は従来 of 予測の通り.

### 3) 会計委員会 (佐々木和彦委員長・担当理事 向山)

- ・2009 年度の決算案
- ・各支部に事業計画並びに予算案の提出求め, 6 支部から提出を受け, 内容検討の結果来年度の予算案に反映させることとした.

### 4) その他

- ・JABEE 委員会・技術者継続教育委員会・地質科学関連学会連合・自然史連合・地理関連学会連合・地球惑星科学連合からは特に報告なし.

### 5) 広報委員会 (情報特任担当理事 倉本, 委員長 坂口理事)

- ・第 1 回惑星地球フォトコンテスト 2009 (IYPE 日本委員会との共催) を実施.
- ・14 作品が入賞 (会員 2 名, 非会員 12 名).
- ・受賞作品は連合大会, 地質の日, 秋の大会等で展示予定.
- ・今後も継続して実施予定.

#### 【ニュース誌編集委員会】

- ・2009 年掲載実績 (2009 年 1-12 月号: Vol. 12, No. 1-12)  
総ページ: 356 ページ (カラー綴込: ジオパークパンフレット, No. 3 掲載)  
外部広告掲載: 4 社 7 件 (ジーエスアイ株式会社/応用地質株式会社/Stallard Scientific Editing/TERRAPUB)

#### 【インターネット運営委員会】

- ・特になし

## (2) 学術研究部会

#### 1) 行事委員会 (委員長 齋藤理事)

- ・年会参加登録システムをHP上に構築し、現在試験調整中。参加費等の支払いにはクレジット決済システムを導入する方向で準備している。
- ・年会業務は昨年に引き続きアカデミックブレインズに委託することとした。
- ・富山大会のセッションおよびシンポジウムについて、現在整理調整中。学会誌4月号に掲載予定。
- ・2011年度の水戸大会は、鉱物科学会が共同開催の意思を表明したので、その方向で準備。日程は再検討した結果、会場の事情を考慮して9月最初の土日になる見込み。
- ・科研費B(研究成果公開促進費)に申請した「地質情報展とやまー北陸の大地をゆるがす地震と恐竜」(補助金額140万円)は内定段階で採択の方向へ前進。

#### 2) 国際交流委員会 (特任担当理事 石渡)

\*日韓交流について(行事とも関連 高木)

- ・8月23日～25日に韓国地質学会・日本地質学会のJoint Meeting を室戸ジオパーク(国立室戸青少年の家)で開催する。この会議は、構造地質学会としての10年ほど前の3回の交流を踏まえ構造地質部会が企画・運営し、富山大会のプレシンポ・プレ巡検として位置づけ、特に若手の参加に努力したい。運営費については、構造地質部会特別引当金と参加費から賄う。現在セッションの招待講演者を決定しつつあり、1<sup>st</sup> Circular作成に向けて準備中。ポスターはすでに韓国地質学会でも公開済み：下記HP参照

[http://struct.geosociety.jp/korea\\_japangs2010/](http://struct.geosociety.jp/korea_japangs2010/)

- ・昨年の済州島大会における宮下会長招待を受け、富山大会に韓国地質学会の会長 Lee Yong Il教授を招待する予定。
- ・2009年の国際交流

#### 3) 専門部会連絡委員会(担当理事 藤本)

- ・特になし

#### 4) 研究委員会

- ・南極地質研究委員会(委員長 廣井美邦)
- ・特になし
- ・地質環境長期安定性研究委員会(委員長 吉田英一)
- ・特になし

### (3) 編集出版部会

- 1) 地質学雑誌編集委員会(委員長 久田理事 副委員長-小嶋, 岩森=企画担当)

・3月末現在の編集状況

116-3月号：論説4 短報1 口絵1 (53ページ・3/29発送済み)

116-4月号：論説3 短報3 (約60ページ・校正中)

現在査読中論文 41編 受理済み 21編 (うち通常号7 特集号14)

・投稿実績

2009年1～12月：昨年比 -48

総数：73編 [論説40 (和文39 英文1)，総説11 (和文11) 短報18 (和文17 英文1)，ノート3 (和文3) 報告1 (和文1)]，口絵8 (英文4・和文4)

特集号投稿2件：高分解能火山地質学 (1)：/高分解能火山地質学 (2)

2010年1～3月 (3/29現在)：昨年比 +1

総数13編 [総説1 (和文1)，論説9 (和文8・英文1)，報告1 (和文1)，短報2 (和文2)]，口絵6 (和文3 英文3)

・掲載実績

115-1～12月号 (2009年1～12月)：

総ページ：689ページ (うち種別 総説7・論説35・短報9・ノート3・報告3・口絵10)

特集号掲載3件：「最終間氷期の環境変動」(115-7月号) / 「プレート沈み込み帯と地震」(115-9月号) / 「陥没カルデラ (1)」(115-12月号)

・法人化に伴う学会名称表記の修正

地質学雑誌4月号より表紙等での学会名称表記を「日本地質学会」から「一般社団法人 日本地質学会」に変更する。

あわせて、編集規則(理事会承認事項)・保証書・著作権譲渡等同意書・転載申請書・著作物利用規定の文中の名称表記も同様に変更する。

・第三紀の扱いの国際的変更に関連して、「第三紀」を使用しない編集を行う。

2) アイランドアーク編集委員会 (編集長 井龍理事，編集事務局長 竹内圭史)

・3月31日現在のIsland Arcの編集状況は、19巻1号まで発行済み。受理・印刷掲載12ヶ月待ちを6ヶ月待ちに改善できる見込み。

・IAR編集事務局が産総研つくば内から学会事務局に移転完了。

・4月1日から編集事務局長 (竹内圭史・角替敏昭) が原 英俊 (産総研) に交代し、同事務局長は副編集委員長を兼ねる。

・Island Arc編集規則の変更を(一社)理事会で審議。

3) 企画出版委員会 (担当理事 藤林)

・城ヶ島たんけんマップ-海から生まれた城が島-(蟹江康光ほか)の企画提案が提出され、現在査読中。

(4) 普及教育事業部会

1) **地学教育委員会** (委員長 中井均, 担当理事 矢島)

- ・日本地震学会・日本火山学会共催の地震火山こどもサマースクールについて、今年地質学会も後援、来年度からは共催として進める予定。今年第11回サマースクールは8月7日・8日に室戸ジオパーク（青少年自然の家）で開催。窓口は高木。

【**連合地学教育検討委員会**】 (渡辺)

- ・特になし

2) **生涯教育委員会** (委員長 柴)

- ・特になし

3) **地質基準委員会** (委員長 新妻)

- ・特になし

4) **地層名委員会** (委員長 天野, 担当理事 井龍)

- ・第四紀、第三紀問題等に関する報告を、3月号News誌ならびにHP等に掲載した。ただし、掲載文「第四紀と更新世の新しい定義と関連する地質時代・年代層序の用語について」中の記5の「鮮新世の区分は上・下鮮新世、後・前期鮮新統の二区分とし…」は誤記のため、「鮮新世は前・後期鮮新世、上・下部鮮新統の二区分とし…」に訂正する。

(5) **その他理事会関係委員会等報告**

1) **法務委員会** (委員長 上砂理事)

- ・利益相反規則が決定し、これに基づき各賞選考が進められた。

2) **支部長連絡会議** (担当理事 高木副会長)

- ・2010年度からは支部選出の理事には、本部と支部が学会としての統一ある運営活動になるためのつなぎの役割を担っていただく。具体的には、理事会で審議される支部に関する検討事項等においては、支部選出の理事を通じて支部意見を理事会に反映するようにしていただきたく、支部および支部選出理事の各位にはご理解の上でご協力をいただきたい。なお、今後の支部長連絡会議では、各支部相互の意見交流ならびに調整を行うこととし、事務的連絡網としても整備させたい。
- ・以下の支部で支部長の交代があった。

北海道支部 竹下 徹(旧:宮坂省吾), 東北支部 竹谷陽二郎(旧:大槻憲四郎), 四国支部 臼井 朗(旧 高橋治郎), 西日本支部 宮本隆実(旧 大木公彦)

- ・支部代表理事および支部長

北海道	理事	田近 淳	支部長	竹下 徹
東北	理事	永広昌之	支部長	竹谷陽二郎
関東	理事	伊藤谷生	支部長	伊藤谷生
中部	理事	竹内 誠	支部長	原山 智

近畿 理事 奥平敬元 支部長 宮田隆夫  
四国 理事 村田明広 支部長 白井 朗  
西日本 理事 太田泰弘 支部長 宮本隆実

**3)地質災害委員会(担当理事・委員長 藤本)**

→法人審議事項へ

**4)ジオパーク支援委員会(委員長 天野, 担当理事 高木)**

・5月23日の連合大会のパブリックセッションにおいて第四紀学会, 地理学会と共催でジオパークのシンポジウムを開催する。また, 富山大会の地質情報展の会場で, ジオパークのシンポジウムを開催する予定。ウェブページも充実させる。

**【日本ジオパーク委員会(委員 高木副会長)】**

・上記の連合大会初日のパブリックセッションにおいて, 今年申請する地域(世界は室戸・阿蘇の2件, 日本3件の予定)は日本ジオパーク委員会のプレゼン審査を兼ね, 終了後委員会が開催される。

**5)法人化作業委員会(担当理事・委員長 渡部常務理事)**

・特になし

**2. 評議員会関係委員会等報告**

**1)各賞選考委員会(委員長 中川)**

・法人理事会で報告審議

**2)名誉会員推薦委員会(担当理事 佃副会長)**

・法人理事会で報告審議

**3)男女共同参画委員会(委員長 堀)**

・地質学学会HPに男女共同参画委員会の紹介ページを作成。  
・来年度の委員会関係事業として, 1)学会保育室利用促進のための利用者補助, 2)Geo-Kids応援プログラムの企画および予算を提出。ただし, 2)については企画内容の再検討中。

**3. その他**

**1)IYPE日本委員会(佃副会長)**

・ファイナルイベントを開催 (3月27日—28日, 富士ソフトアキバプラザ)  
「惑星地球フォーラム2010 in アキバ—君たちと考える環境・防災・資源」  
記念式典 28日 第1部 セレモニー, 第2部 記念講演およびパネル討論,  
アキバ宣言  
テーマ展示 3月27日—28日 青少年対象  
・日本地質学会特別協賛企画

3月27日（土）15：00-16：00

- ①早稲田大学高等学院 地学クラブ 研究紹介
- ②四川大地震 記録映画 『風を感じて』 ダイジェスト版上映
- ③早稲田大学高等学院の高校生，四川大地震の記録映画製作者と一緒に語る「大地の変動」

・日本地質学会にたいし感謝状が授与された。

## 2) 国際地学オリンピック日本委員会（委員長 久田）

・国内選抜一次予選（2009年12月20日各地で筆記試験実施；682名応募）を受け、3月24日～26日に、つくばで一次選抜24名の参加で国内二次選抜大会が行われ、インドネシア大会に参加する4名の高校生（大西泰地・川島崇志・武内健大・野田和弘）が選抜され、その他4名に大会優秀賞が授与された。

## 3) 地質の日委員会（委員 藤林理事）

- ・ニュートンに記事掲載決定：掲載月号は、2010年6月号（4月26日発売）
- ・IYPE「大矢記念特別賞」受賞

「IYPE推進に力を注いだ方々，あるいはそのポリシーを引き継ぐ団体等」として。

## 4) 学術会議関連（北里学術会議会員）

- ・「日本の展望」がまとめられ，学術会議のウェブページからダウンロードできる。
- ・大規模科学研究計画をまとめた。これも、ウェブページからダウンロードできる。コミュニティとやり取りしながら改訂するので、地質学会も発言してもらいたい。
- ・青少年の理科離れを抑止するため，とくに、地球科学は総合的な分野であるので、全教科に亘る万遍ない知識の修得が求められる。「地球に生きる素養を身につけよう：地球と自然を好きになる教育の勧め」を提言予定。時期は夏前となる見込み。

## 4. 理事会審議事項報告（おもなもの，その他，詳細は（任）理事会議事録参照）

### 1) 第四紀・第三紀問題について

1月22日公表の文書の内容を本学会の指針とし，今後雑誌やHPなど学会の公式文書は，それに従うこととする。学術大会の講演や講演要旨などについては第三紀の使用を妨げない。

地層名委員会と理事会の連名で，指針と推奨する年代表をHPやNews誌などに速やかに掲載。

### 2) 法人への移行について

### 3) 地質災害について

## ○評議事項

1. 任意団体の解散と財産の移譲について
  - ・一般社団法人への移譲財産の確認（資金・備品・図書など）がなされた。5月23日開催予定の総会で、これらすべてを一般社団法人に委譲し、任意団体は解散する方針であることが説明され、承認された。
2. 2009年度事業報告・決算案
  - ・3月31日現在の決算が報告され、承認された。
3. 総会議案について
  - ・5月23日開催予定の総会の議案が下記のように提案され、承認された。
  - 1号議案 2009年度事業経過報告
  - 2号議案 2009年度決算報告
  - 3号議案 任意団体の解散と法人への移行 一解散宣言一
4. その他
  - ・評議員会は今回が最終回となるため、宮下会長から挨拶があった。

以上